

## ART OF IBARAKI

Ibaraki Ceramic Art Museum



### 近現代日本陶芸の巨匠たち 茨城県陶芸美術館

表紙では、茨城県陶芸美術館所蔵作品の中から、文化勲章受章者及び重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を中心に、日本の近現代陶芸を語る上で欠かせない作家たちの作品を紹介します。

板谷 波山 いたや ほどん  
明治5年(1872)ー昭和38年(1963)

### 葆光彩磁孔雀尾文様花瓶

ほこうさいじくじゃくおもんようかびん

当館コレクション展示室にて展示中

大正3年頃(c.1914)

茨城県陶芸美術館蔵

h32.4×w21.4cm

板谷波山は明治5年に筑西市に生まれ、近代日本陶芸史に大きな足跡を残した作家です。波山が陶芸家として世に出た明治中期以降の日本の陶芸界では、欧米で人気のアール・ヌーヴォーのデザインや窯業の技術が熱心に研究されていました。波山も本作にアール・ヌーヴォーの重要なモチーフの一つである「孔雀尾文」を取り入れています。またマット調の釉である「葆光釉」や、釉の下に絵付けする「彩磁」(釉下彩)は、この時期波山が改良を重ね命名した独自の技法であり、本作は文様・釉薬・釉下彩における若き日の研究成果が結実した作品といえます。

#### 主な内容

- ▼理事会を開催
- ▼県と災害時応急対策基本協定を締結
- ▼県が調査基準価格等を引き上げ

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

### 本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人)茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 予算確保要望や人材確保推進

## 本会の理事会を開催



岡部会長



本会は3月22日、水戸市の県建設技術研修センターで理事会を開催し、平成29年度の事業計画案などを承認しました。本年度も公共事業予算の安定的な確保・拡大に向けた要望をはじめ、技術力向上、人材確保に向けた活動などに積極的に取り組みます。建設業への導入が進むICTに関しては、現場見学会の開催や国・県への提言・要望を通して、会員企業が対応可能な環境整備が進むよう努めます。

冒頭、岡部会長は日ごろの支援と協力に礼を述べた上で「昨年11月には協会設立60周年記念式典を無事開催することができた。本年は、本会の前身である県土木建築請負業組合結成から100周年の節目の年を迎える。7月には記念行事を行う」とあいさつしました。

議事では、新規入会者、事業計画案、収支予算案を審議し、いずれも原案どおり決定。建設工事の品質と県民の安全・安心の確保につながる公共工事予算の確保・拡大や、入札・契約制度の改善事項要望、広報活動などを積極的に展開していく方針を確認しました。

また、国や県との協定に基づく災害時の応

急対策や道路の清掃、不法投棄防止のパトロールなどを引き続き実施するとともに、会員企業の緊急時における事業継続計画(BCP)取得も促進します。

さらに雇用改善や人材確保・育成を確実に進めるため、高校生などを対象に現場見学会、現場実習、インターンシップを行うほか、工業高校生を対象とした2級土木施工監理技士資格試験の準備講習会を新たに開催します。

このほか、支部対抗チャリティーゴルフ大会をスターツ笠間ゴルフ倶楽部で企画していることに触れました。

# 技術力向上・地域貢献・積極広報

## 平成29年度事業計画案を決定

### 平成29年度事業計画案の重点項目

#### 建設工事の品質と県民の安全・安心の確保を図る事業

##### ①公共事業予算の安定的な確保・拡大

- ・建設業の社会的使命を将来にわたり果たすためには、安定的な受注確保が前提となることから、公共事業予算の持続的・安定的な確保拡大を公共発注機関に対し強く要望する。

##### ②品確法と運用指針等のさらなる徹底

- ・多様な入札契約制度、総合評価方式の普及・拡大、ダンピング対策の徹底、不良不適格業者の排除などについて情報収集を行い、入札・契約制度の改善事項について、関係発注機関へ要望、提言を行う。

##### ③経営の改善・技術力の向上等に関する啓発指導事業

- ・建設業におけるICT技術の進展等に係る情報収集に努めるとともに、ICT土工の現場見学会の開催や県の「いばらきICTモデル工事支援協議会」などにおいて、提言・要望を行う。
- ・今後、一層維持管理分野の重要性が増すことから、県および茨城大学と連携し「社会基盤メンテナンスエキスパート」の育成事業を促進する。

##### ④建設業における地域貢献活動事業

- ・災害時の応急対策業務、家畜伝染病に関する防疫業務の即応体制を整えるとともに、不法投棄防止パトロール、道路の清掃活動などを

引き続き実施する。

- ・緊急時における事業継続計画（BCP）への対応についても、会員企業での取得を推進し、信頼される業界を目指す。

##### ⑤積極的な広報活動の推進

- ・業界のイメージアップにつながる効果的な広報について調査・検討するとともに、将来の担い手確保・育成に資する広報活動を積極的に展開する。
- ・国や地方公共団体との災害協定に基づく各種訓練に積極的に参加し、広く県民にアピールする。

#### 建設業の健全な発展向上を図るための雇用改善および人材確保・育成に関する事業

##### ①人材の確保・育成に関する取り組み

- ・工業高校生等を対象とした建設現場見学会、現場実習などを開催するほか、普通科の学生にも門戸を広げたインターンシップ等を引き続き実施する。
- ・新たに工業高校生を対象とした2級土木施工管理技士資格試験の準備講習会を開催する。
- ・厚生労働省の委託事業である「建設業における人材確保等のための雇用管理改善促進事業」を受託し、会員企業に対する雇用管理改善に関する相談・支援事業等に取り組む。

# 県と新たな災害時協定を締結

実態に即し対象や業務を拡大

本会と茨城県は3月30日、「災害時における応急対策業務に関する基本協定」を締結しました。協定に基づき、本会は自然災害が発生した場合などにおいて、パトロールや緊急措置などを行い、地域の安全・安心を確保していきます。



正副会長、支部長で県庁を訪れ、橋本知事と基本協定を締結しました

今回は、1986年に締結した協定の内容を実態に即した形に改定。対象災害を地震災害から自然災害（暴風、竜巻、洪水、高潮、地震など）に、対象施設を道路等から公共土木施設等に変更したほか、業務内容に障害物の除去作業（放置車両対策の強化）や緊急を要する建設資機材等の調達・輸送を追加しました。

締結式には、県から橋本昌知事、澤田勝土木部長および関係課長が、本会から正副会長および各支部長が出席。橋本知事は「これまでも災害時に昼夜を問わず道路パトロールや応急復旧に迅速に対応していただいた協会の皆さまと、新たな協定を締結できたことは心強い限り」と喜びを表しました。

岡部会長は「これまでも県民の安全・安心を守るといった社会的使命を果たしてきたが、今回の改

定でより実態に即した内容となった。災害想定訓練への参加など、これまで以上に積極的な対応に努めていく」と応えました。

## 各支部は細目協定結ぶ



基本協定を締結後、各支部は県の土木（工事）事務所等と、パトロールや道路啓開などの応急対策業務実施に関する細目協定を締結しました。（写真は境支部と境工事事務所）

# 「測量・施工・出来形」一連の流れ掴む

## 下館河川とICT土工体験講座を開催



細谷副会長



銭谷下館河川  
事務所副所長



会員企業の技術者など約100人が参加しました

本会は3月7日に国土交通省関東地方整備局下館河川事務所と、新井土木(株)(常総市)施工の常総市上三坂地内の築堤工事現場で、ICT土工体験講座を開催しました。会員企業の技術者や県土木部の職員など約100人が参加し、起工測量や築堤盛土、出来形管理などICTを活用した一連の段階を体験しました。

講座の冒頭、本協会の細谷武史副会長は「進化する技術を地方の建設現場に導入できるよう柔軟に対応していきたい。有意義な講座にさせていただきたい」とあいさつしました。

続いて、下館河川事務所の銭谷秀徳副所長が「本年2月末現在における当事務所の発注工事64件中のうち19件がICT活用で、16件が実際に活動している」と管内の状況を説明しました。

座学では、新井土木の新井紀雄専務取締役と高槻到監理技術者が、工事概要および当該工事でのICT活用内容について解説。続いて、福井コンピュータ(株)の田中智子氏が3次元データの作成・



ICT建機を実際に操作し、感触を確かめました

活用について、コマツレンタル(株)東京営業部の簾内耕氏がICT建機とUAV測量について、それぞれ説明しました。

その後、上三坂地内の現場へ移動し、ICTのバックホウとブルドーザ、UAV・GNSSローバーを体験。参加者たちは、実際に重機を操作し、感触を確かめたほか、メーカー担当者に積極的に質問しながら、ICT建機などの特性理解に努めました。

実技講座中、参加者からICT建機導入のメリットについて問われた高槻監理技術者は「丁張りや杭などが不要なく、効率は上がる」などと答えていました。

# 実習・見学・インターンシップを継続

## 魅力職場、労働者確保事業推進委が事業報告と計画

本会による「若年者に魅力ある職場づくり事業推進委員会」と「建設労働者確保育成事業推進委員会」が3月22日、水戸市の県建設技術研修センターで開かれ、平成28年度の事業結果報告と平成29年度の事業実施計画案が示されました。

28年度の事業結果では、入職・離職率の雇用管理実態に関する調査結果を報告。常用労働者数

の割合は55歳以上が全体の38.8%を占める一方、若年労働者は全体の18.1%にとどまっていることなどが説明されました。

また、現場見学会と現場実習に参加した学生のアンケートで、86%以上が「現場実習に参加後、建設業に対するイメージが良くなった」と回答したことなどが報告されました。



### 平成29年度の主な事業計画

- ◆建設雇用改善パトロールの実施
- ◆入職・離職率など各種調査事業
- ◆建設現場見学会・体験学習、インターンシップの実施
- ◆新規入職者研修の実施
- ◆建設系高校生対象の資格取得講習会実施など

## 直接工事費の参入率0.97へ

### 県土木部が調査基準など引き上げ

県土木部は、国の動きに合わせて低入札価格調査基準価格と最低制限価格の設定方法を改正し、4月1日以降の入札公告および指名通知案件から適用を開始しました。工事では、現場作業員の賃金等である労務費の算入率をこれまでの「0.95」から「1.0」へ変更し、直接工事費の算入率を現行の「0.95」から「0.97」へ引き上げました。この変更により平均的な建設工事においては、予定価格に対する割合が88～90%となる見込みです。

県土木部は、公共工事におけるダンピング受注による工事品質の低下、下請業者へのしわ寄せ防止の徹底を図るため、中央公契連モデルの改正を受け、低入札価格調査基準価格と最低制限価格の

設定方法を改正しました。

なお、低入札価格調査制度および最低制限価格制度の対象金額に変更はありません。また従来どおり工事は予定価格の70

#### 低入札価格調査基準（工事） （平成29年4月1日～）

範囲	
予定価格の7.0～/10～9.0/10	
計算式	
・直接工事費×0.97 ※今回変更	
機械経費 0.95	
労務費 1.00 ※今回変更	
材料費 0.95	
・共通仮設費×0.90	
・現場管理費×0.90	
・一般管理費等×0.55	
上記の合計額×1.08	

～90%の範囲内で設定。最低制限価格については、最低制限基本価格にパソコンが無作為に抽出したランダム係数を乗じて算出します。

# 着任あいさつ

茨城県土木部長 **富永 幸一**



茨城県の土木行政につきまして、日頃から格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この4月に土木部長に着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

茨城県土木部では、東日本大震災や関東・東北豪雨からの復旧・復興を加速させるとともに、大規模災害からの教訓を踏まえて、公共施設の耐震化や長寿命化など防災・減災対策を進め、「災害に強い県土づくり」を推進しております。今後ともご支援をお願い申し上げます。

また、陸・海・空の広域交通ネットワーク

の充実を図るとともに、日常生活を支えるインフラ整備を積極的に進め、「みんなで創る人が輝く 元気で住みよい いばらき」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

これらの整備を効率的に推進するためには、地元の厚い信頼と優れた技術力を備えた優良企業が、健全な経営のもと持続的に発展できる環境整備が何よりも必要です。このため、県といたしましては、意欲ある建設業者の皆様への支援や建設業の健全な発展に資する各種の取り組みを進めてまいります。

協会の皆様におかれましては、岡部会長さんを中心として、県土発展のために益々ご活躍されますようご祈念申し上げ、着任のご挨拶とさせていただきます。

## 茨城県幹部職員 (建設関係部門)

平成29年4月1日現在

### 土木部

職名	氏名
部長	富永幸一 ●
次長	小澤正哉 ●
技監 (総括)	古平祐次 ●
都市局長	新 一真
港湾振興監	中川研造
企画監	仙波義正
監理課長	池元和典 ●
用地課長	皆川桂一 ●
技監兼検査指導課長	藤田幹雄 ●
道路建設課長	松橋秀広
技監兼道路維持課長	大山登志彦
技監兼河川課長	横田喜一郎
港湾課長	二川 浩 ●
営繕課長	鈴木安行
技監兼都市計画課長	小林一洋
都市整備課長	渡辺紀之 ●
技監兼公園街路課長	鈴木俊二 ●
下水道課長	大野谷祐二 ●
技監兼建築指導課長	小沼紀男
住宅課長	海老沢和雄
水戸土木事務所長	伊藤敦史 ●
技監兼常陸大宮土木事務所長	富田広美 ●

大子工務所長	原部修一
技監兼潮来土木事務所長	肥高孝之
土浦土木事務所長	小杉俊一 ●
土浦土木事務所つくば支所長	鯉淵宏一
技監兼筑西土木事務所長	渡辺 功 ●
常陸太田工事事務所長	内木二三男
高萩工事事務所長	西野清敬 ●
鉾田工事事務所長	川崎正博 ●
竜ヶ崎工事事務所長	柳澤晃宏
常総工事事務所長	飯村信夫
境工事事務所長	瀬川 潔 ●
茨城港湾事務所長	皆川和彦 ●
鹿島港湾事務所長兼保安調整監	平田 正 ●
鹿島下水道事務所長	今宮 泉 ●
流域下水道事務所長	茂田義巳

### 農地局

職名	氏名
農林水産部長	櫛田浩司 ●
農地局長	根本 力 ●
農村計画課長	石井昌広 ●
農地整備課長	飯岡輝夫 ●
農村環境課長	関 武志

県央農林事務所土地改良部門長	平石 昇
県北農林事務所土地改良部門長	深谷洋二 ●
鹿行農林事務所土地改良部門長	滑川健司 ●
県南農林事務所土地改良部門長	飯塚弘幸
県西農林事務所土地改良部門長	高野 充 ●
高萩土地改良事務所長	檜山 敦
稲敷土地改良事務所長	大塚正美 ●
境土地改良事務所長	柏木達陽 ●

### 企業局

職名	氏名
公営企業管理者企業局長	中島敏之
企業局次長	井坂 良 ●
企画経営室長	高崎武夫 ●
参事兼総務課長	國松永稔
業務課長	蓼沼秋男
技監兼施設課長	茅根継雄
県南水道事務所長	野上邦男 ●
鹿行水道事務所長	高田浩幸
県西水道事務所長	横田弘紀 ●
県中央水道事務所長	篠塚正樹 ●

●…新任 (敬称略)

## 社会人の基本学ぶ

### 富士で就職前研修



新規入職者を対象とした「就職前準備研修」を3月9～11日にかけて、静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで実施し、会員12社への就職内定者29人が参加しました。

この研修は、建設業への就職内定者が社会人になるための心構えやあいさつの仕方、建設業の労働安全衛生や自己啓発などについて2泊3日で学ぶものです。東日本建設業保証(株)が企画・協賛しています。

参加者たちは、全国から参加した建設業関係への就職内定者とともに、実践的な演習を通して、スピーチの仕方やチーム思考の訓練などを実施。新たに始まる社会人生活に備えました。

本会の準備研修は前年度に続き2回目となります。今後もこのような取り組みを通し、入職者のバックアップ体制をさらに充実させ、人材定着へ貢献していきます。

## 平成29年度 定時総会のご案内

(一般社団法人)茨城県建設業協会

- 日 時：平成29年5月24日(水)  
午後1時30分表彰式、午後2時総会  
場 所：茨城県建設技術研修センター  
(水戸市青柳町4195)  
議 題：28年度事業報告  
29年度予算案・事業計画案ほか

## ❁❁ 新規入会 ❁❁

### ▽ 鉾田支部

(株)久米工務店

久米 雅文 代表取締役

住所：行方市成田 950

電話：0291-35-2771

(株)ミノワ

箕輪 伊勢男 代表取締役

住所：行方市島並 856-1

電話：0299-72-0544

### ▽ 常総支部

(株)山信工務店

小林 泰栄 代表取締役

住所：常総市若宮戸 34-2

電話：0297-42-3724

## 会員の動向

### 〈社名変更〉

#### ▽ 常総支部

(有)クシタ建設 → (株)クシタ建設

## ちよつと一言



各地から花の便りが届き、春本番という良い季節となりました。きれいに咲いた花を見ると心が和み、幸せな気分になってくれます。きれいな花は、ホームセンターや園芸店に行けばいくらでも買えるでしょうが、自分で草花1本でもきれいに咲かせようとすれば太陽の光、気温、種をまく時期、水、肥料、虫の駆除、雑草取り、剪定など、いろいろな対策が必要です。昨年うまく咲いたから今年も同じようにやれば大丈夫と思ってもどうなるかわかりません。

家庭菜園などを始めて数年の新米、一年サイクルで物事を処理してしまいがちですが、将来立派な花を咲かせる大樹に育てようとすれば、3年単位、5年単位、10年単位で対処しなければとの思いを強くしています。(E)